

国内・海外

○印：国内関係 ☆印：海外関係

1日(水)○ 6月の短観、リーマン・ショック直後以来の低水準

日本銀行が6月の企業短期経済観測調査を発表。大企業製造業の業況判断指数(DI)がマイナス34と、前回3月から26ポイント下落。09年6月(マイナス48)以来、11年振りの低水準。

9日(木)○ 日銀、全地域の景気判断2期連続引き下げ

日銀が「地域経済報告(さくらレポート)」を公表。新型コロナウイルスの影響で、前回4月に続いて全9地域で景気の総括判断を引き下げた。2四半期連続の全地域引き下げは11年振り。

22日(水)○ 「Go To トラベル」スタート

新型コロナウイルスの感染拡大で落ち込んだ観光事業への起爆剤として、政府の観光事業支援策「Go To トラベル」事業が始まった。東京都民と東京を目的とした旅行は対象外に。

30日(木)☆ 米4～6月期GDP、32.9%減

米商務省が発表した4～6月期のGDP速報値(季節調整済)は、年率換算で前期比32.9%減だった。リーマン・ショック直後の08年10～12月期(8.4%減)を大幅に上回り、1947年以降で最悪の落込み。

30日(木)○ 景気後退入り認定、「山」は18年10月で戦後最長ならず

内閣府は、12年12月に始まった景気拡大期間が18年10月に終わり、翌月11月から後退局面に入ったと認定した。期間は71カ月間となり、戦後最長記録のいざなぎ景気(73カ月)に届かず。

県内・九州

★印：県内関係 ●印：九州関係

1日(水)★ 県内路線価の平均変動率、0.9%増

長崎税務署が2020年の県内の路線価(1月1日時点)を公表。県内の調査地点の平均変動率が前年比0.9%増となり、3年連続で上昇した。JR長崎駅周辺の再開発が牽引。

1日(水)★ 日銀短観、業況指数15期悪化

日銀長崎支店が6月の企業短期経済観測調査を発表。県内の全産業の業況判断が前回3月から15期悪化してマイナス31となり、リーマン・ショック後の09年3月のマイナス30よりも厳しい水準となった。

17日(金)● 6月の九州への外国人入国者、11人

九州運輸局が発表した6月の九州への外国人入国者(速報値)は11人ととどまった。前年同月には42万人超が入国していた。新型コロナウイルスの影響で訪日外国人の激減が続いている。

18日(土)★ 稲佐山展望台、リニューアルオープン

ジャパネットHDの子会社(株)リージョナルクリエーション長崎が、稲佐山の展望台や周辺を「INASA TOP SQUARE」として整備しオープン。新たなランドマークで地域活性化を目指す。

30日(木)★ ジャパネット、J2長崎練習拠点の整備計画中断

サッカーJ2、V・ファーレン長崎の親会社ジャパネットHDは、大村市総合運動公園に新しい練習拠点を整備する計画を中断すると表明した。これを受け、大村市長は練習拠点の誘致断念を表明。